

在北外学汉语

第五届福井县高中生汉语短训班

第 9 期

2017.3.22

星 期 三

修了式



3月22日(水)、毎日食事をしてきた国交楼の中の“教工餐厅”の奥には素敵なパーティー会場があり、昼食答礼会が行われた。堀光輝さんと谷口巴菜さんが司会として前半の修了式を順調に進めてくれた。まず、最初に研修団を代表して、青山恭子先生が謝辞を述べ、続いて、中国語文学学院弁公室主任張学増 先生より激励のお言葉をいただいた。

そして、生徒を代表して 嶋田優真 さんが、「毎日の中国語だけの授業を通して私たちの中国語が日に

日に上達していくのを感じました。また、名所旧跡の観光を通して、北京の文化や歴史を肌で感じ、いっそう興味を持ちました。今後も中国語を一生懸命学んでいく決意です。」と挨拶し、先生方からすばらしいとお褒めの言葉をいただいた。なお、修了式や答礼会は私たちが主催であり、司会進行も通訳もすべて私たちが行った。



答礼会



会食後、出し物の発表会を行った。内容は次の通りである。

1. 足羽高校1年生3人(鬼丸・酒井・鈴木)による歌「寧夏」
2. 男子3人(堀・藤木・真溪)によるカンフー体操
3. 気比高校女子2人(仙石・三田村)によるダンス
4. 全員での歌「朋友」
5. プレゼント贈呈



司会進行の藤木君、三田村さんは、スムーズな進行に徹し、全体を盛り上げてくれた。



前日の夜に各自が練習をし、今日の4時間目の30分をもらい全体の流れを確認して本番に臨んだ。練習の成果を発揮することができ、どの生徒の顔も満足感に満ちていた。あっという間の10日間であり、そのたった10日間で生徒たちは大きく成長したと感じる。この研修がきっかけで将来中国の大学へ留学する生徒も出てくるであろう。中国で生活できる基礎作りと中国語学習に対する目標ができた素晴らしい研修となった。

最後に、この研修を代表して、北京外国語大学の素晴らしい先生方に出会い中国語を学べたこと、今後の活躍が大いに期待できる頼もしい仲間ができたこと、そして研修全体を支えてくださった趙先生に心からお礼を申し上げて第5回の研修を閉じることにする。

